

令和6年度 皆野町一般会計予算大綱

令和6年3月5日

皆野町長職務代理者 皆野町副町長 黒澤 栄則

1 予算編成の内容

(1) 骨格予算の編成

令和6年度一般会計予算（当初予算）は、通常の前算編成とは異なり、政策的経費を除いた骨格予算として編成しました。

本来であれば、新年度の当初予算案は新規事業の実施や工事の箇所付け、主要な計画の策定・改訂など、町長の政策的判断を反映させて議会に提出するものです。

しかし、令和6年2月末で町長が退職し議会への予算案提出時に不在であることから、政策的経費を除いた骨格予算として編成したものです。

(2) 計上した内容

町長が不在の状況においても、通常どおりに行うべき行政サービスは絶え間なく提供する必要がありますことから、経常的に生じる経費は例年同様に計上しています。

また、これに加えて以下の各項目に関する経費も計上しています。

- ① 議会において前年度までに継続費や債務負担行為の議決を経ている事業費
- ② 国や県と連動して実施する施策
- ③ 一部工事等において従前からの継続性を考慮して実施が必要なもの
- ④ 各種補助金等を申請する都合上、当初予算に計上が必要なもの
- ⑤ 事業スケジュールの都合上、年度当初から着手することが必須となるもの

(3) 予算規模

令和6年度当初予算	歳入歳出総額	4,179,248千円
令和5年度当初予算	歳入歳出総額	4,463,000千円
	比較	△ 283,752千円

2 重点施策の決定と政策的経費の追加

新たな町長が就任した後、施政方針に基づき重点施策を決定します。また、令和6年度に実施する事業について検討し、政策的経費を追加する補正予算を編成します。

3 歳入歳出予算における主要な費目の概要

(1) 歳入

款1 町税

前年度から 51,885 千円減額の 1,020,476 千円を計上しています。減額の主な要因は、令和6年度税制改正における定額減税による 37,044 千円の個人町民税の減収や、評価替えによる固定資産税家屋分 7,698 千円の減収を見込んだことによるものです。

款7 地方消費税交付金

県から示された交付見込額に基づき、前年度から 11,000 千円減額の 215,000 千円を計上しています。うち、一般財源分として 102,000 千円、社会保障財源化分として 113,000 千円を見込んでいます。

款10 地方特例交付金

前年度から 36,524 千円増額の 43,452 千円を計上しています。うち 37,044 千円は、定額減税による個人町民税の減収補てん分です。

款11 地方交付税

前年度から 136,140 千円増額の 1,805,435 千円を計上しています。普通交付税は、令和5年度の再算定後の額や例年の交付実績を踏まえ、実情に近づけるよう積算方法を見直したことにより、前年度当初予算から 138,378 千円の増額としたものです。特別交付税は近年の実績を踏まえ、前年度から 2,238 千円減額の 110,492 千円を計上しています。

款15 国庫支出金

前年度から 50,624 千円減額の 361,543 千円を計上しています。減額の主な要因は、実績に基づく児童手当国庫負担金 11,844 千円の減額や、新型コロナウイルスワクチン接種に係る国庫負担金 20,241 千円の皆減です。

款16 県支出金

前年度から 21,329 千円減額の 279,147 千円を計上しています。減額の主な要因は、農村地域防災減災事業県補助金 10,000 千円の皆減、県知事選挙及び県議会議員選挙執行に係る委託費交付金 10,323 千円の皆減です。

款19 繰入金

骨格予算として編成する趣旨から基金繰入金を最小限としているため、前年度から 221,012 千円減額の 2,000 千円を計上しています。

令和5年度中に、町道金沢1号線舗装補修工事の財源として受け入れた寄附金

1,000千円を公共施設整備基金に積み立てていたため、今回それを基金繰入金として計上しています。また、図書購入基金繰入金を例年同様の1,000千円計上しています。

款21 諸収入

前年度から14,661千円減額の42,756千円を計上しています。減額の主な要因は、スポーツ公園野球場防球ネット改修工事費の財源として計上していた、スポーツ振興くじ助成金11,709千円の皆減や、県収入証紙廃止に伴う売捌収入944千円の皆減です。

款22 町債

前年度から80,500千円減額の152,916千円を計上しています。骨格予算として編成するため、工事請負費の財源として充当する過疎対策事業債を縮小しているほか、国の地方財政対策に基づき臨時財政対策債の発行可能額減少を見込んでいるものです。

(2) 歳出

款2 総務費

前年度から45,173千円減額の649,210千円を計上しています。主な減額の要因は、地域公共交通計画策定業務委託料23,253千円の減額や、おまつり広場屋外トイレ改修工事費14,000千円の皆減です。

款3 民生費

前年度から2,631千円増額の1,330,695千円を計上しています。後期高齢者医療療養給付費負担金は、高齢者の医療費増大を受けて前年度より16,791千円増額の117,301千円を計上しています。また、策定が努力義務とされている「第3期子ども・子育て支援事業計画」の策定業務委託料として新たに8,125千円を計上しています。一方で、出生者数及び入園児数の減少により、子どものための教育・保育委託料は前年度より13,800千円減額の192,600千円、同様に対象児童の減少を受けて児童手当は前年度より11,175千円減額の109,200千円を計上しています。

款4 衛生費

前年度から18,845千円減額の641,869千円を計上しています。減額の主な要因は、新型コロナウイルスワクチン接種業務委託料10,998千円の皆減や、同ワクチン接種に係る予約システムやコールセンターの設置等に係る負担金6,293千円の皆減です。

款6 農林水産業費

前年度から 17,172 千円減額の 82,117 千円を計上しています。減額の主な要因は、骨格予算の編成による林道整備工事費の減額や、前年度に計上していた国神の一ト星池に係る農村地域防災減災事業委託料 10,780 千円の皆減によるものです。

なお、森林・林業に関する施策を進めるべく地域林政アドバイザーを採用するため、会計年度任用職員給料 3,449 千円等の関連経費を計上しています。

款7 商工費

前年度から 1,272 千円減額の 55,663 千円を計上しています。前年度に計上していた観光パンフレット等の作成委託料 3,840 千円や、道の駅みなづの駐車場内の側溝補修工事費 2,500 千円は皆減となります。

一方、秩父音頭まつり補助金は物価高騰による経費の増額を踏まえて 1,600 千円増額の 5,800 千円を計上しています。

款8 土木費

前年度から 128,034 千円減額の 146,219 千円を計上しています。骨格予算の編成に伴い、箇所付けが必要な工事に関する経費の計上を見送ったため、項2道路橋りょう費は前年度より 118,613 千円の減額となっています。

また、同様の理由から項3河川費においても河川の維持補修に係る工事請負費が前年度より 8,000 千円の減額となっています。

款9 消防費

前年度から 16,827 千円増額の 281,568 千円を計上しています。前年度から債務負担行為を設定して進めている消防団指令車購入費 8,000 千円の計上や、広域市町村圏組合消防費負担金が前年度より 3,264 千円増額となっているのが増額の主な要因です。

款10 教育費

前年度から 64,199 千円減額の 618,597 千円を計上しています。前年度に計上していた国神小学校校舎給水管更新工事費 38,060 千円や、スポーツ公園野球場防球ネット改修工事費 17,564 千円、新・学校給食センターに係る用地測量・物件調査委託料 11,726 千円等の皆減によるものです。

款12 公債費

前年度から 25,673 千円減額の 284,588 千円を計上しています。減額の主な要因は、平成 15 年度の臨時財政対策債や、平成 25 年度に防災行政無線整備事業で借り入れた緊急防災・減債事業債等、過去の起債の償還完了によるものです。

4 基金残高

(単位:千円)

基金名	令和5年度末 現在高(見込)	令和6年度中の増減		令和6年度末 現在高(見込)
		積立額	繰入額	
財政調整基金	1,172,477	2,007	0	1,174,484
減債基金	490,142	74	0	490,216
災害見舞基金	7,825	100	0	7,925
地域福祉基金	200,184	20	0	200,204
公共施設整備基金	761,674	19	1,000	760,693
ふるさと水と土保全対策基金	2,046	0	0	2,046
図書購入基金	1,846	0	1,000	846
学校教育施設整備基金	443	104	0	547
森林環境整備基金	12,416	0	0	12,416
合計	2,649,053	2,324	2,000	2,649,377

※千円単位で表示する都合上、合計欄の額が各基金の額を足したものと合わない場合があります。